

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 商工労働課 商工労働係 事務事業番号 124040105

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	24	多様な働く場の確保	4	就業対策の促進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
1	就業対策推進事業	5	「さんようおのだ就職フェア」・「山陽小野田市合同就職面接会」開催事業				政策的
事業概要	市、ハローワーク及び商工会議所が連携して、本市独自の「就職フェア」及び「就職面接会」を開催する。地元にて特化した就職説明会とすることで、地元企業の雇用確保を支援し、また、若者の地元定着を目指す。 ミニ面接会:2月16日開催				対象	市内企業及び一般求職者	
					手段	「就職フェア」又は「就職面接会」の開催	
					意図	本市企業のPRや人材確保、求職者の市内就業を支援する。	

事業期間	H30以前	年度	～	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
	R1(決算額)			R2(決算額)			R3(決算額)		R4(予算額)		
支出内訳				印刷製本費		印刷製本費		印刷製本費		印刷製本費	41千円
		手数料	30千円	手数料		手数料		手数料		手数料	30千円
						消耗品費		6千円		消耗品費	20千円
合計			30千円					6千円			91千円
財源内訳/割合	国庫支出金					1/2		2千円	1/2		45千円
	県支出金										
	地方債										
	その他										
	一般財源			30千円					4千円		46千円
合計			30千円					6千円		91千円	
人工数	0.19人	1,097千円		0.03人	174千円		0.02人	116千円			
総経費		1,127千円						122千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	参加事業所数 (就職フェア及び面接会合計)	活動	40事業所	5事業所	5事業所	15事業所
			25事業所	2事業所	3事業所	
			67.5%	40.0%	60.0%	
2	参加者数	成果	200名	10名	10名	30名
			44名	6名	6名	
			22.0%	60.0%	60.0%	
3						

成果	令和2年度、3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、就職フェア・面接会の開催が困難であり、ミニ面接会を1回のみであった。昨今は、人手不足の状況でもあるので、今後も定期的に就職につながる事業を実施していく。				
R5年度に向けた課題及び改善策	コロナ禍といえども、人手不足の解消につながるよう面接会の回数を増やす等の対応を行っていく。				
目標達成度	C	R5年度に向けた方向性			
		成果	拡充	コスト	現状維持
特記事項	令和2年度、3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、就職フェアは中止。				

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 商工労働課 商工労働係 事務事業番号 125010108

実施体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	25	中小企業の振興	1	中小企業の支援		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
1	中小企業経営支援事業		8	新型コロナウイルス感染症に関する中小企業等支援事業				政策的
事業概要	新型コロナウイルス感染症に対応した中小企業、小規模事業者支援を次のとおり実施する。 ①新型コロナウイルスに係る経営相談(事業転換、新商品開発を含む)、国の「事業再構築補助金」及び「小規模事業者持続化補助金」などに関する相談窓口やセミナー等を実施する。 ②山陽小野田市、小野田商工会議所、山陽商工会議所が連携してテイクアウト・デリバリーを行う市内のお店を紹介するサイト(スマイルさんようおのだエール飯)を令和2年に立ち上げており、そのサイト運営を行い、飲食店支援を行う。				対象	小野田商工会議所、山陽商工会議所		
					手段	中小企業相談所補助金の交付		
					意図	市内中小企業、小規模事業者支援		

事業期間	R2 年度	～	R5 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳			中小企業相談所補助金(予備費)	2,129千円	中小企業相談所補助金	1,410千円	中小企業相談所補助金	810千円
	合計			2,129千円		1,410千円		810千円
財源内訳/割合	国庫支出金						10/10	810千円
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			2,129千円		1,410千円		
合計			2,129千円		1,410千円		810千円	
人工数			0.22人	1,276千円	0.07人	405千円		
総経費				3,405千円		1,815千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	相談会、セミナー出席者数	活動		90名	130名	100名
				95名	88名	
				105.5%	67.6%	
2	サイト登録店舗数	活動		50店舗	60店舗	-
				53店舗	52店舗	
				106.0%	86.6%	
3						

成果	令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う経営相談及び新事業展開、設備投資のための相談やアドバイス、又国や県の補助金申請書作成支援等、専門家による個別相談会やセミナーを開催し、事業者のニーズに合わせた適切な支援ができた。また、飲食店(テイクアウト)を紹介するサイトを運営するのみならず、テイクアウトのイベントを実施するなど、サイトを積極的に活用した。				
R5年度に向けた課題及び改善策	新型コロナウイルス感染症だけでなく、物価高騰等の影響も中小企業・小規模事業者には出てきているので、今後も事業者のニーズに応じた支援を行っていく必要がある。				
目標達成度	B	R5年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 商工労働課 商工労働係 事務事業番号 125010111

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	25	中小企業の振興	1	中小企業の支援		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
1	中小企業経営支援事業		11	飲食店及び飲食店関連事業者等支援給付金事業				政策的
事業概要	新型コロナウイルス感染症拡大のため、事業収入が減少した飲食店及び飲食店関連事業者、タクシー事業者に対し、事業継続を支援するための給付を行う。 給付の要件として、山口県の営業時間短縮要請協力金又は中小企業者デルタ株集中対策支援金を受けていることとする。				対象	飲食店及び飲食店関連事業者、タクシー事業者		
					手段	支援給付金(1事業者200千円)の給付		
					意図	飲食店及び飲食店関連事業者に対する事業継続支援		

事業期間	R3 年度	～	R3 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳					時間外勤務手当	219千円		
					報償金	86千円		
					消耗品費	17千円		
					印刷製本費	52千円		
					通信運搬費	16千円		
					広告料	99千円		
					飲食店等支援給付金	33,200千円		
合計						33,689千円		
財源内訳/割合	国庫支出金				10/10	33,000千円		
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					689千円		
合計						33,689千円		
人工数 人件費					0.70人	3,366千円		
総経費						37,055千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	給付金支給事業者数	活動			220事業者 166事業者 75.4%	
2						
3						

成果	県が令和3年8月から9月に実施した営業時間短縮要請に応じた飲食店を中心に給付金を支給した。本給付金は用途を限定するものではなく、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている飲食店や飲食店関連事業者に対して、事業継続支援につながったと考えている。					
R5年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	B	R5年度に向けた方向性				
		成果	完了	コスト	R3	
特記事項	令和3年度終了					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 商工労働課 企業立地推進室 事務事業番号 126010103

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	26	工業の振興	1	企業誘致の推進		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
1	企業誘致推進事業		3	工場設置奨励条例(新規企業誘致、内発促進)				政策的
事業概要	厳しい都市間競争の中で企業誘致を進めるため、工場設置奨励条例による優遇措置(工場設置奨励金、雇用奨励金、用地取得奨励金、従業員住宅新設奨励金)を特典とし、企業誘致活動を展開する。				対象	(市内、市外)企業		
					手段	企業からの申請に基づき、奨励金を交付する		
					意図	企業誘致の推進		

事業期間	H30以前	年度	～	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)			
	工場設置奨励金	99,198千円	工場設置奨励金	101,783千円	工場設置奨励金	82,948千円	工場設置奨励金	40,646千円		
	雇用奨励金	400千円	雇用奨励金	1,200千円	用地取得奨励金		用地取得奨励金	229,969千円		
	用地取得奨励金	53,608千円	用地取得奨励金	447,332千円	雇用奨励金	1,800千円	雇用奨励金			
					従業員住宅新設奨励金	148千円	従業員住宅新設奨励金	974千円		
	合計	153,206千円		550,315千円		84,896千円		271,589千円		
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	153,206千円		550,315千円		84,896千円		271,589千円		
合計	153,206千円		550,315千円		84,896千円		271,589千円			
人工数	0.15人	866千円	0.20人	1,160千円	0.20人	1,157千円				
総経費		154,072千円		551,475千円		86,053千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	奨励金交付件数	活動	できるだけ多く	できるだけ多く	できるだけ多く	できるだけ多く
			8件	11件	9件	
			-	-	-	
2						
3						

成果	近年順調に分譲が進んでいることによる企業団地進出に係る各種奨励金の交付及び既存企業の設備投資に係る奨励金交付も一定数あり、企業進出及び設備投資の後押しとなっていると思われる。				
R5年度に向けた課題及び改善策	近年企業団地への進出が続いており、引き続き早期完売に向けて、当該優遇制度を積極的にPRし、更に県と協調して企業誘致を進める必要がある。なお、団地完売後を見据え、当該条例の内容変更についても検討していく必要がある。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
		成果	拡充	コスト	現状維持
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 商工労働課 企業立地推進室 事務事業番号 126010106

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	26	工業の振興	1	企業誘致の推進		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
1	企業誘致推進事業		6	本社機能移転等促進条例				政策的
事業概要	山口県では、県独自の支援制度として、市町と協調し、本社機能等の移転を行う企業に対して支援を行うため令和2年4月から「山口県本社機能等移転促進補助金」を拡充し、若者や女性の事務系職場の創出に向けた取組を行っていくこととしている。本市も、山口県の取組に呼応し、本社機能の移転を行う企業に対し、補助金を交付する制度を創設した。				対象	(市内、市外)企業		
	※県外から市内に本社機能を移転する企業に対し、移転する本社機能業務に従事する異動者及び新規に雇用する常用雇用者一人当たり50万円を交付(市が対象者とした者に対し県も一人当たり同額を交付)。				手段	企業からの申請に基づき、奨励金を交付する		
					意図	企業誘致の推進		

事業期間	R2 年度	～	R8以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳							本社機能移転奨励金	10,000千円
	合計							10,000千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源							10,000千円
合計							10,000千円	
人工数 人件費			0.10人	580千円	0.05人	289千円		
総経費								

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	奨励金交付件数	活動			-	できるだけ多く
2						
3						

成果	令和3年度での奨励金の交付はないが、令和3年に県外から1社本社機能の移転が行われた。				
R5年度に向けた課題及び改善策	引き続き、企業訪問などを通して、制度説明を行い、本社機能移転の促進を図っていく。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 商工労働課 企業立地推進室 事務事業番号 126020104

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	26	工業の振興	2	立地基盤の整備		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
1	立地基盤整備事業		4	小野田・楠企業団地インフラ等整備事業				政策的
事業概要	企業が工業団地等に進出する際には、産業基盤整備のニーズが強いため、そのニーズに応えるための立地基盤の促進に努めるものである。敷設した光ファイバー線の維持管理事業や水道加圧装置の設置など事業毎に年度で事業内容は異なる。				対象	小野田・楠企業団地への進出企業		
					手段	インフラ整備		
					意図	立地基盤の整備を行うことで、企業進出交渉を有利に展開する必要がある		

事業期間	H30以前	年度	～	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)			
支出内訳	設備保守委託料	249千円	工事請負費	17,022千円	設備保守委託料		設備保守委託料	130千円		
	草刈等委託料	289千円	光ファイバー設置委託料	172千円	清掃委託料	211千円	清掃委託料	332千円		
	地質調査委託委託料	1,246千円	草刈等委託料	272千円	草刈等委託料	995千円	草刈等委託料	300千円		
	光ファイバー設置委託料	885千円	設備保守委託料		地質調査委託委託料	1,311千円	光ファイバー設置委託料	500千円		
	設計委託料	2,042千円			光ファイバー設置委託料		工事請負費	28,252千円		
	電柱共架料	5千円			設計委託料	1,990千円				
	工事請負費	14,413千円			工事請負費	4,455千円				
	合計	19,129千円		17,466千円		8,962千円		29,514千円		
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債	100%	10,400千円	100%	12,100千円	100%	3,300千円	100%	25,200千円	
	その他									
	一般財源		8,729千円		5,366千円		5,662千円		4,314千円	
合計		19,129千円		17,466千円		8,962千円		29,514千円		
人工数	0.44人	2,541千円	0.20人	1,160千円	0.15人	868千円				
総経費		21,670千円		18,626千円		9,830千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R1	R2	R3	R4	
1	「小野田・楠企業団地」進出企業への高速通信網の整備・維持	活動	2社	1社	1社	1社
			2社	0社	0社	
			100%	-	-	
2	「小野田・楠企業団地」進出企業への給水接続管及び加圧給水装置の設置	活動	4社	1社	1社	1社
			4社	1社	2社	
			100%	100%	200%	
3						

成果	工業団地進出企業に対し、事業活動に必要なインフラ整備を滞りなく行うことができた。				
R5年度に向けた課題及び改善策	団地進出企業とは進出後においても連絡を密にとり、その時点での課題や問題点がないか状況を把握するよう努める。また現在団地の分譲が順調に進んでおり、問い合わせも多くある中、新たな進出が重複した場合においても、全ての企業において事業活動に支障がないよう、滞りなくインフラ整備を行っていく。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 商工労働課 商工労働係 事務事業番号 127010102

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	27	商業の振興	1	商業振興支援の充実	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
1	既存商店街振興事業		2 空き店舗等利活用支援事業				政策的
事業概要	市内の指定地区において、空き店舗を活用して事業をする者(既存事業者、新規起業家等)に対して、当該店舗において事業を開始するための「リニューアルの費用」の一部を補助する。(補助金上限額:1/2以内、50万円1事業者1回のみ申請可能)				対象	空き店舗を改修し、事業を始める者	
					手段	店舗等のリニューアルに対する補助を行う。	
					意図	事業者に対して、事業開始時の負担軽減を図る。商業振興、地域経済の増進	

事業期間	R2 年度	～	R8以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳			空き店舗等リニューアル補助金	500千円	空き店舗等リニューアル補助金	1,000千円	空き店舗等リニューアル補助金	1,000千円
	合計				500千円		1,000千円	
財源内訳/割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他				ふるさと支援基金	1,000千円	ふるさと支援基金	1,000千円
	一般財源				500千円			
合計				500千円		1,000千円		1,000千円
人工数	人件費			0.02人	116千円	0.02人	116千円	
総経費				616千円		1,116千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	補助事業利用者	活動		2件	2件	2件
				1件	2件	
				50.0%	100%	
2	空き店舗数(小野田駅前商店街、厚狭商店街)	成果		8店舗	8店舗	7店舗
				10店舗	7店舗	
				0%	114.20%	
3						

成果	令和3年度は、コロナ禍にも関わらず、小野田駅前商店街、厚狭商店街にそれぞれ1軒ずつ補助金を支出し、両商店街の空き店舗の解消につながった。				
R5年度に向けた課題及び改善策	商工会議所との意見交換やLABVプロジェクトに係る旧セメント町商店街の活性化等の動きを注視し、今後事業費を拡大するか検討する。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
		成果	拡充	コスト	拡大
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 商工労働課 商工労働係 事務事業番号 127010206

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	27	商業の振興	1	商業振興支援の充実		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
2	商業振興支援事業	6	創業応援金交付事業	1-(3)			政策的	
事業概要	「山陽小野田市創業支援等事業計画」に基づく特定創業支援事業を受けた事業者に対し、支援のための助成金を交付する。創業後、1年経過したことを交付要件とし、1年度につき10万円、3年間交付する。				対象	特定創業支援事業証明を受けた創業者		
					手段	補助金の交付		
					意図	創業者に対し助成金を交付することで、創業当初の運営負担を軽減する。		

事業期間	H30以前	年度 ~	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)		
	創業応援事業補助金	200千円	創業応援事業補助金	700千円	創業応援事業補助金	1,000千円	創業応援事業補助金	1,900千円	
	合計	200千円		700千円		1,000千円		1,900千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他	ふるさと支援基金 200千円			ふるさと支援基金 1,000千円	ふるさと支援基金 1,900千円			
	一般財源			700千円					
合計	200千円		700千円		1,000千円		1,900千円		
人工数	0.04人	231千円	0.02人	116千円	0.02人	116千円			
総経費		431千円		816千円		1,116千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	助成金交付件数	活動	7件	10件	11件	19件
			2件	7件	10件	
			28.5%	70.0%	90.9%	
2						
3						

成果	市の創業支援等事業計画に基づく支援を受けて創業する方や創業に向けて支援を受けている方は増加しており、令和3年度は10件の交付となった。本事業は、本市で創業するインセンティブとなっている。				
R5年度に向けた課題及び改善策	コロナ禍にも関わらず、市の創業支援等事業計画に基づく支援を受けて創業する方や創業に向けて支援を受けている方は増加傾向にあるため、今後も事業を拡大していく。				
目標達成度	B	R5年度に向けた方向性			
		成果	拡充	コスト	拡大
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 商工労働課 商工労働係 事務事業番号 127010207

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	27	商業の振興	1	商業振興支援の充実	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
2	商業振興支援事業	7	創業支援事業(個別相談会、支援セミナー等実施事業)		1-(3)		政策的
事業概要	平成28年4月に策定した「山陽小野田市創業支援等事業計画」に基づき、創業を希望する方への個別相談、会計処理相談などの各種相談会、創業セミナー等を実施する。また、創業された方に対しても、フォロー体制を整え、事業経営をブラッシュアップする。商工会議所への委託事業とし、実施事業は市の創業支援等事業計画に基づく「特定創業支援事業」と位置づける。				対象	市内で創業を希望する方、創業された方	
					手段	相談会、セミナー等の実施	
					意図	市内での創業を支援し、市の商業振興を目的とする。	

事業期間	H30以前	年度	～	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)			
支出内訳	創業支援業務委託料	1,593千円	創業支援業務委託料	1,739千円	創業支援業務委託料	1,976千円	創業支援業務委託料	2,848千円		
	合計	1,593千円		1,739千円		1,976千円		2,848千円		
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金	1,593千円			ふるさと支援基金	1,976千円	ふるさと支援基金	2,848千円	
	一般財源			1,739千円						
合計	1,593千円		1,739千円		1,976千円		2,848千円			
人工数	0.13人	751千円	0.02人	116千円	0.02人	116千円				
総経費		2,344千円		1,855千円		2,092千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	創業相談件数(創業支援等事業計画に基づく支援実施者)	活動	100件	100件	100件	100件
			94件	117件	145件	
			94.0%	117.0%	145.0%	
2	創業者(創業支援等事業計画に基づく支援実施者)	成果	15人	15人	25人	25人
			18人	18人	19人	
			120.0%	120.0%	76.0%	
3	短期の集中セミナー(起業塾)参加者	活動	10人	10人	10人	10人
			13人	16人	15人	
			130.0%	160.0%	150.0%	

成果	令和2年度、3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響の中で創業間もない方や新事業展開を余儀なくされた方の相談が増加しており、創業後のアフターフォローとしても有効であった。				
R5年度に向けた課題及び改善策	創業希望者の相談は、コロナ前と変わらずあるため、引き続き委託先の商工会議所と、どのようなニーズがあり、どのような支援が必要か協議していく必要がある。				
目標達成度	B	R5年度に向けた方向性			
		成果	拡充	コスト	現状維持
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 商工労働課 商工労働係 事務事業番号 127010208

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	27	商業の振興	1	商業振興支援の充実	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	2	商業振興支援事業	8	山口東京理科大学学生定住促進事業	1-(2)		政策的
	山口東京理科大学には市内からの進学はもとより市外、県外から多くの学生が入学してくることから、本市の住民基本台帳に登録されている山口東京理科大学の学生に対して、インセンティブとして「住まいる奨励金」を支給し、本市への定住を促進させるとともに商業振興を図る。交付業務は公立大学法人山口東京理科大学に委託する。				対象	山陽小野田市の住民基本台帳に登録している学生	
					手段	市内の協力店で買い物をした学生に1人当たり最大3万円を「住まいる奨励金」として交付する	
				意図	若者の定住人口の確保及び商業振興		

事業期間	H30以前	年度	～	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)			R2(決算額)			R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳	市内定住促進業務委託料	4,464千円		市内定住促進業務委託料	2,412千円		市内定住促進業務委託料	3,345千円	市内定住促進業務委託料	6,390千円
	消耗品費	6千円		消耗品費			消耗品費		消耗品費	20千円
	印刷製本費	174千円		印刷製本費	117千円		印刷製本費	75千円	印刷製本費	182千円
合計	4,644千円			2,529千円			3,420千円		6,592千円	
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	4,644千円			2,529千円			3,420千円		6,592千円
合計	4,644千円			2,529千円			3,420千円		6,592千円	
人工数	0.06人	347千円		0.03人	174千円		0.03人	174千円		
総経費	4,991千円			2,703千円			3,594千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	入学時に山陽小野田市の住民基本台帳に登録している学生(1年生)の割合	成果	70%	75%	75%	60%
			50.9%	38.9%	40.1%	
			72.7%	51.8%	53.4%	
2						
3						

成果	令和3年度も、引き続きのコロナ禍により、本市住民基本台帳に登録した1年生は令和2年度とほぼ同程度となった。				
R5年度に向けた課題及び改善策	ここ数年、住民基本台帳登録者数も減の傾向であるが、住民基本台帳登録者であっても本制度を申請しない学生が6割程度いる。事業スキームを見直す又は事業自体を廃止するか検討する必要がある。				
目標達成度	C	R5年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 商工労働課 商工労働係 事務事業番号 127010209

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	27	商業の振興	1	商業振興支援の充実	
事業概要	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
	2	商業振興支援事業	9	ガラスのブランド化推進事業	1-(3)		政策的
事業概要	本市では、公設ガラス工房「きららガラス未来館」の活用や全国規模の現代ガラス展を開催するなどガラスアートによるまちづくりに取り組んでいる。当該施設は、指定管理により小野田ガラス㈱が運営しており、ガラス造形作家が、自身のガラス作家活動をしなが体験学習の指導等に従事している。小野田ガラス㈱と協力し、ガラス作品をブランド化し、統一的なブランドの下で商品力の高いガラス作品を創り出すとともに、市のガラス文化の知名度アップを図る。				対象	市内で制作されるガラス作品	
					手段	ガラス作品のブランド化(コンサルタント業者へ委託)	
					意図	ガラスのブランド化による特産品の開発、市の知名度の向上を図る。	

事業期間	R2 年度	～	R8以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳			ブランド化推進事業委託料	11,833千円	ブランド化推進事業委託料	20,000千円	ブランド化推進事業委託料	18,000千円
			報償金	248千円	報償金	84千円	報償金	48千円
					印刷製本費	69千円	商標登録委託料	500千円
					商標登録委託料	252千円	デザイン委託料	860千円
					普通旅費	41千円		
	合計				12,081千円		20,446千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金		1/2	6,040千円	1/2	10,017千円	1/2	9,024千円
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源				6,041千円		10,429千円	
合計				12,081千円		20,446千円		19,408千円
人工数 人件費			0.80人	4,639千円	1.00人	5,783千円		
総経費				16,720千円		26,229千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	ガラスのブランド化の実施	活動		ブランド戦略立案 ブランド戦略立案 100%	ブランドの構築 ブランドの構築 100%	プロモーション実施
2						
3						

成果	令和3年度は(株)三越伊勢丹、(株)日本デザインセンターに事業を委託し、ブランド(ブランド名、ブランドロゴ、ブランドコンセプト等)の完成、3月に東京でブランドのお披露目展覧会を開催した。				
R5年度に向けた課題及び改善策	地方創生推進交付金を活用しての事業実施は令和4年度までとなる。今後は、このたび完成した「ブランド」をいかに維持していくかを市と小野田ガラス㈱とで協議し、事業を継続していく必要がある。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	縮小
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 商工労働課 商工労働係 事務事業番号 127010213

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	27	商業の振興	1	商業振興支援の充実	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	2	商業振興支援事業	13	商品券(スマイルチケット)発行事業			政策的
	新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み、市民生活を支援するとともに、地域における消費を喚起するため、市民に商品券を配付する。市民は、配付された商品券をあらかじめ登録している取扱店で使用する。取扱店は、市内金融機関に使用済みの商品券を持参し換金する。 ■商品券(愛称 スマイルチケット) 発行額面500円 ※1人につき5,000円分の商品券(500円×10枚)を配付 ■取扱店(あらかじめ商品券取扱店として登録した市内店舗) ①専用券(3,000円分) 市内の飲食店、小規模事業者、タクシー事業者のみ ②共通券(2,000円分) 商品券取扱店全店舗				対象	本市住民基本台帳に登録された市民・理科大生、商品券取扱店	
					手段	市民は、配付された商品券を取扱店で使用する。取扱店は、市内金融機関に使用済みの商品券を持参し換金する。	
					意図	市民生活の支援及び地域の消費喚起	

事業期間	R2 年度	～	R4 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳			印刷製本費	7,927千円	印刷製本費	7,263千円	印刷製本費	9,361千円
			通信運搬費	8,762千円	通信運搬費	9,028千円	通信運搬費	15,957千円
			手数料	6,681千円	手数料	13,247千円	手数料	13,860千円
			コールセンター業務委託料	3,696千円	コールセンター業務委託料	2,477千円	コールセンター業務委託料	3,080千円
			帳票類印刷・封入等委託料	5,187千円	帳票類印刷・封入等委託料	4,633千円	帳票類印刷・封入等委託料	5,000千円
			商品券発行事業負担金	303,742千円	商品券発行事業負担金	302,998千円	商品券発行事業負担金	317,000千円
			その他(人件、役務、委託等)	3,783千円	その他(人件、役務等)	1,619千円	その他(人件、役務等)	2,531千円
合計			339,778千円		341,265千円		366,789千円	
財源内訳/割合	国庫支出金		10/10	339,000千円	10/10	301,972千円	10/10	193,574千円
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			778千円		39,293千円		173,215千円
合計			339,778千円		341,265千円		366,789千円	
人工数			1.75人	8,384千円	1.40人	6,732千円		
総経費			348,162千円		347,997千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	取扱店舗数	活動		300店舗	550店舗	570店舗
				546店舗	570店舗	
				182.0%	103.6%	
2	商品券使用数	活動		625,870枚	619,060枚	619,000枚
				607,484枚	602,915枚	
				97.0%	97.4%	
3	取扱店舗向けアンケートで、スマイルチケット実施により売上が減少しなかったと回答した店舗の割合	成果		90.0%	90%	90.0%
				96.5%	95%	
				107.2%	106.0%	

成果	令和3年度実績では、商品券は飲食店や小規模事業者の店舗で53%が利用されており、専用券を設定したことで飲食店や小規模事業者に対して、一定の支援ができたと考えている。事業者アンケートでもスマイルチケットの実施は好評であった。					
R5年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性				
		成果	完了	コスト	R4	
特記事項						

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 農林水産課 農林係 事務事業番号 128010107

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	28	農業の振興	1	農業経営体の育成・強化	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
1	農業生産者支援事業	7	農地中間管理機構事業				政策的
事業概要	農業従事者の高齢化が急速に進展する中、持続可能な農業の実現のため、農地中間管理機構を活用し、担い手への農地集積と集約化を図る。「農業経営基盤強化の促進に関する基本的な構想」において令和5年度末を目標に担い手への集積率を概ね40%とすることとしているため、集積目標は40%とする。既存の農事組合法人による大規模な集積は完了しており、今後は担い手による個別の集積を推進する必要がある。				対象	担い手農業従事者	
					手段	農地の中間受け皿として県農地中間管理機構が整備され、担い手への農地集積と集約化を行う。	
					意図	担い手への農地集積の促進・農地の集約化の加速化	

事業期間	H30以前	年度	～	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)			
		農地中間管理事業補助金	39千円	農地中間管理事業補助金		農地中間管理事業補助金				機構集積協力金
合計		39千円								450千円
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金		39千円							450千円
	地方債									
	その他									
	一般財源									
合計		39千円								450千円
人工数	0.15人	866千円	0.01人	58千円	0.01人	58千円				
総経費		905千円								

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	担い手への農地の集積率	成果	0	0	0.33	0
			0	0	0	
			86.0%	0%	0%	
2						
3						

成果	農地中間管理機構への農地集積がされなかったが、地域で農地集積計画は進められている。				
R5年度に向けた課題及び改善策	R4年度に農地集積を行う予定があり、農地中間管理機構と情報共有しながら進めていく必要がある。				
目標達成度	D	R5年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 農林水産課 農林係 事務事業番号 128010108

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	28	農業の振興	1	農業経営体の育成・強化	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
1	農業生産者支援事業	8	担い手支援事業				政策的
事業概要	担い手の育成・確保を図るため経営発展を目指す認定農業者等の担い手の農業用機械・施設の導入経費の一部を支援する。 ○補助対象 農産物の生産、農業経営の開始または改善に必要な機械(10万円以上)・施設の取得 ○補助金額 認定農業者:事業費の1/2 上限機械50万円・施設100万円(5年間の認定期間中に1回限り)				対象	認定農業者(令和元年9月末現在52名)	
					手段	機械・施設の整備に要した経費の1/2を補助する。	
					意図	担い手の確保・育成	

事業期間	R2 年度	～	R8以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳			担い手支援事業補助金	1,236千円	担い手支援事業補助金	4,853千円	担い手支援事業補助金	5,000千円
	合計			1,236千円		4,853千円		5,000千円
財源内訳/割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他				ふるさと支援基金	4,853千円		
	一般財源			1,236千円				5,000千円
合計			1,236千円		4,853千円		5,000千円	
人工数	0.00人	千円	0.01人	58千円	0.02人	116千円		
総経費			1,294千円		4,969千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	交付決定数	成果		10件	10件	10件
				3件	9件	
				30.0%	90.0%	
2	認定農業者数	活動	53人	54人	55人	56人
			52人	56人	58人	
			98.1%	104.0%	105.0%	
3						

成果	農業用機械・施設の経費の一部を支援することにより、担い手の育成・確保を行うことができた。				
R5年度に向けた課題及び改善策	認定農業者等の担い手に継続的な農業用機械・施設の経費に対する支援を行うことで育成及び確保を図っていき、担い手の要望に応えていく必要がある。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 農林水産課 農林係 事務事業番号 128010111

実施体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	28	農業の振興	1	農業経営体の育成・強化	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
1	農業生産者支援事業	11	6次産業化・農商工連携応援事業				政策的
事業概要	農林水産業従事者の高齢化が進む中で、担い手や労働力の確保が益々困難になると予想される中、農林水産業が発展していくためには、「売れる商品づくり」が必要であり、現代のニーズに合った商品開発や適切な販路開拓が課題となっている。しかし、農林水産業者は家族経営や小規模な企業が多く、消費者ニーズを踏まえた取組を単独で実施することは難しい。そこで、市内農林水産物を使用した、真に売れる新商品開発など、販路拡大までの総合的な支援を行うことで、成功事例を創出し、農林水産業全体の発展に寄与する。				対象	市内農林水産物を使用していること。	
					手段	6次産業化・農商工連携応援協議会の取組に対する補助及び同協議会の支援を受け作成した6次産業化・農商工連携応援プランを実行するために必要な経費の1/2を補助する。	
					意図	成功事例を創出し、農林水産業全体の発展に寄与する。	

事業期間	R3 年度 ~	年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)	R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳				補助金	1,476千円	協議会補助金	2,000千円
						応援事業補助金	3,000千円
	合計					1,476千円	5,000千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源					1,476千円	5,000千円
合計					1,476千円	5,000千円	
人工数 人件費				0.40人	2,313千円		
総経費					3,789千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	6次産業化・農商工連携応援プランの実行	活動			2 0 0%	2
2	市ふるさと納税返礼品新規登録数	成果			2 0 0%	2
3						

成果	6次産業化・農商工連携応援プランの作成において企画・調査に時間がかかり、認定を受けるまでに至っていない。				
R5年度に向けた課題及び改善策	R4年度にプラン認定となる見込みがあり、プラン実施による成功事例を創出することで、次なるプラン作成者を呼び込み、新たな6次産業化事業を進めることで農林水産業全体の発展を図る。				
目標達成度	D	R5年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	○6次産業化・農商工連携応援事業補助金(1)6次産業化・農商工連携応援協議会補助金 内容:協議会の取組に対する補助金 200万円(定額) 対象:6次産業化・農商工連携応援協議会 (2)6次産業化・農商工連携応援プラン実行補助金 内容:協議会の支援を受け作成したプランの実行に要する経費の1/2 上限 1件 150万円(県等の補助を受けた場合は、その額を差し引いた残りの額の1/2) 対象:協議会の支援を受け作成したプランを作成し市に承認された者				

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 農林水産課 農林水産課 事務事業番号 128010112

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	28	農業の振興	1	農業経営体の育成・強化	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
1	農業生産者支援事業	12	人・農地プラン実質化推進支援事業				政策的
事業概要	人・農地プランを実質化させるため、市が以下の取組を行う。 (1) 農業者に対するアンケート調査 (2) アンケート調査の結果等を記載した地図の作成 (3) 地域における話合いのコーディネーター役を担う者を対象とした研修 (4) 地域における話合いを行うための会合の開催 (5) 地域における話合いにおいてコーディネーター役を担う者の派遣 (6) 実質化された人・農地プランを取りまとめるに当たって行われる関係機関の代表者や農業者等から意見を聴取する会合の開催				対象	市	
					手段	人・農地プランを実質化させるため、市が以下の取組について補助する。	
					意図	人・農地プランの実質化	

事業期間	R3 年度	～	R5 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)			R4(予算額)	
支出内訳					職員手当等			
					報償金			
					消耗品費	41千円		
					通信運搬費	35千円		
					会場借上料			
合計						76千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他					76千円		
	一般財源							
合計						76千円		
人工数 人件費					0.03人	174千円		
総経費						250千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	農業者等から意見を聴取する会合の開催	活動			8地区 3地区 38.0%	
2	人・農地プランの実質化	成果			8プラン 3プラン 38.0%	
3						

成果	実質化できていない地区のうち3地区については、実質化できたが、残り6地区については実質化できなかった。				
R5年度に向けた課題及び改善策	実質化できなかった6地区については、令和4年度新設された「人・農地将来ビジョン確立・実現支援事業」を活用し、実質化を行う。				
目標達成度	D	R5年度に向けた方向性			
		成果	休廃止	コスト	皆減
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 農林水産課 農林係 事務事業番号 128010201

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	28	農業の振興	1	農業経営体の育成・強化	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	2	新規就業者支援事業	1	農業次世代人材投資事業			政策的
	次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、就農直後の経営確立を支援する資金(経営開始型(5年以内))を交付する。				対象	青年の新規就農者(就農時の年齢が50歳未満)	
					手段	準備型……年間150万円を最長2年間交付 経営開始型……年間最大150万円を最長5年間交付	
				意図	次世代を担う農業者となることを志向する就農希望者や新規就農者への資金の交付等の取組を行い、農政新時代に必要な人材力の強化を図る。		

事業期間	H30以前	年度 ~	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)		
支出内訳	農業次世代人材投資資金	11,250千円	農業次世代人材投資資金	7,500千円	農業次世代人材投資資金	7,905千円	農業次世代人材投資資金	6,000千円	
	合計	11,250千円		7,500千円		7,905千円		6,000千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金	100%	11,250千円	100%	7,500千円	100%	7,905千円	100%	6,000千円
	地方債								
	その他								
	一般財源								
合計		11,250千円		7,500千円		7,905千円		6,000千円	
人工数	0.25人	1,444千円	0.20人	1,160千円	0.20人	1,157千円			
総経費		12,694千円		8,660千円		9,062千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	資金交付人数	成果	7人	7人	7人	3人
			6人	5人	4人	
			85.7%	71.4%	57.1%	
2	新規就農者数	活動	1人	1人	1人	1人
			0人	0人	1人	
					100%	
3						

成果	資金交付人数は年々減少しているが、令和3年度は、新規就農者を1人確保することができた。				
R5年度に向けた課題及び改善策	本事業は令和3年度採択分で廃止となり、令和4年度から「新規就農者育成総合対策(経営開始資金)」に移行するため、当事業で対応し、引き続き新規就農者の確保を図る。				
目標達成度	C	R5年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 農林水産課 農林係 事務事業番号 128010202

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	28	農業の振興	1	農業経営体の育成・強化	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	2	新規就業者支援事業	2	新規就農・就業者定着支援事業	1-(3)		政策的
	新規就農者を雇用又は、構成員として受け入れた法人が、国の農の雇用事業を2年間活用した後に継続して雇用等を行う場合、単県事業で最長3年間の支援を行なう。				対象	新規就農者を雇用又は、構成員として受け入れた法人	
				手段	国の農の雇用事業(120万円/年)を2年間活用後に継続して雇用する法人に対し、3年目90万円、4年目60万円、5年目30万円を給付する。		
				意図	県内外からの新規就農・就業者び確保対策を一層加速化するため、新規就農・就業者の定着支援を図る。		

事業期間	H30以前	年度 ~	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)		
支出内訳	新規農業就業者定着促進事業補助金	2,025千円	新規農業就業者定着促進事業補助金	3,225千円	新規農業就業者定着促進事業補助金	1,550千円	新規農業就業者定着促進事業補助金	2,200千円	
	合計	2,025千円		3,225千円		1,550千円		2,200千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金	50%	1,012千円	50%	1,612千円	50%	775千円	50%	1,100千円
	地方債								
	その他								
	一般財源	0.5	1,013千円	50%	1,613千円	50%	775千円	50%	1,100千円
合計		2,025千円		3,225千円		1,550千円		2,200千円	
人工数	0.15人	866千円	0.21人	1,218千円	0.21人	1,215千円			
総経費		2,891千円		4,443千円		2,765千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	新規就農者受入法人数	成果	2法人	4法人	5法人	5法人
			2法人	2法人	1法人	
			100%	50.0%	20.0%	
2	補助対象人数	成果	10人	10人	10人	10人
			7人	8人	4人	
			70.0%	80.0%	40.0%	
3						

成果	新規就農者受入法人数は5法人に増えたが、新規就業者数は1人にとどまった。				
R5年度に向けた課題及び改善策	新規就業者受入れのPR活動や本事業をPR活動が必要。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
		成果	拡充	コスト	現状維持
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 農林水産課 農林係 事務事業番号 128010204

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	28	農業の振興	1	農業経営体の育成・強化	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	2	新規就業者支援事業	4	新規就業者等産地拡大促進事業			政策的
	市が主体となって策定する「産地パッケージ計画」に基づき、新規就業者の受入支援及び生産力の強化のための機械の導入、施設の整備にかかる経費について支援する。				対象	新規就業者を雇用した法人及び新規就農者を受入れた産地を管轄する農業協同組合等。	
					手段	機械・施設等(コンバイン、トラクタ、パイプハウス等)の整備に対して、1/3の補助を行う。	
				意図	産地における新たな人材の確保・育成と生産拡大の取組を一体的に推進できる体制を整備する。		

事業期間	R2 年度	～	R5 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳	新規就業者等産地拡大促進事業補助金	2,768千円	新規就業者等産地拡大促進事業	11,885千円	新規就業者等産地拡大促進事業補助金			
	合計	2,768千円		11,885千円				
財源内訳/割合	国庫支出金							
	県支出金	2,768千円	100%	11,885千円	1			
	地方債							
	その他							
	一般財源							
合計	2,768千円		11,885千円					
人工数	0.10人		0.20人		0.10人			
人件費	578千円		1,160千円		578千円			
総経費	3,346千円		13,045千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	事業実施法人	成果	1法人	1法人	1法人	1法人
			0法人	1法人	0法人	
				100%	0%	
2						
3						

成果	実施予定だったが、実施主体の経営的判断により未実施となった。				
R5年度に向けた課題及び改善策	新たな人材の確保・育成と生産拡大の取組を一体的に行うため、更なる事業内容の周知に努め、事業活用の推進を図る。				
目標達成度	D	R5年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	○事業実施期間 平成30年度から令和2年度まで○令和3年度 ・実施主体:SKサービス ・事業概要:パイプハウス×15棟 30,000千円○令和4年度 ・実施主体:花の海 ・事業概要:ビニールハウスの整備				

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 農林水産課 農林係 事務事業番号 128010205

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	28	農業の振興	1	農業経営体の育成・強化	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	2	新規就業者支援事業	5	新規就農者支援事業	1-(3)		政策的
	経営の不安定な就農初期段階の新規就農者に対し、農業用機械又は施設等の整備に要する経費の一部を補助し、経営の安定化及び次世代を担う農業者を確保・育成することを目的とする。				対象	認定新規就農者(就農時18歳以上50歳未満の者で、就農後5年以内の者)	
					手段	農業用機械及び施設整備に係る経費の補助。補助率1/2、上限額 機械150万円・施設250万円	
					意図	次世代を担う農業者の確保・育成及び移住促進	

事業期間	R1 年度	～	R8以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳	新規就農者支援事業補助金	1,250千円	新規就農者支援事業補助金	3,166千円	新規就農者支援事業補助金	1,528千円	新規就農者支援事業補助金	1,816千円
	合計	1,250千円		3,166千円		1,528千円		1,816千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他				ふるさと支援基金	1,528千円		
	一般財源	1,250千円		3,166千円				1,816千円
合計	1,250千円		3,166千円		1,528千円		1,816千円	
人工数	0.20人		0.20人		0.15人			
人件費	1,155千円		1,160千円		868千円			
総経費	2,405千円		4,326千円		2,396千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	補助人数	成果	3人	2人	2人	2人
			3人	2人	2人	
			100%	100%	100%	
2						
3						

成果	補助人数の目標を達成することができた。				
R5年度に向けた課題及び改善策	引き続き新規就農者の確保に努め、本事業をPRを行う。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 農林水産課 耕地係 事務事業番号 128020102

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	28	農業の振興	2	農業の生産基盤の整備		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
1	農業基盤整備事業	2	県営農業競争力強化基盤整備事業(王喜東地区)				政策的	
事業概要	農地の大区画化及び農業水利施設の整備を実施し、農地集積・集約化を図ることを目的として、山陽小野田市埴生地区11haを含む140haの農用地について、下関王喜地区として区画整理を実施する。(負担金総額25,994千円)				対象	地元農家及び農地。		
					手段	県営事業として、王喜地区及び埴生地区の農地を対象に区画整理等を実施する。		
					意図	農業基盤を整備することで、中心経営体への農地の集積を促進し、農業競争力を強化する。		

事業期間	H30以前	年度 ~	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)		
	県事業負担金	4,285千円	県事業負担金	2,223千円	県事業負担金	4,889千円	県事業負担金	2,934千円	
	(35,704*0.12)		(100,000*10/54*0.12)	千円	220,000*10/54*0.12=4,889千円		区画整備		
	繰越明許	2,800千円	繰越明許	千円	3月補正(当初)	-2,555千円	112,000*10/54*0.12=2,489千円		
	(23,333*0.12)		区画整備	1,534千円	繰越明許		暗渠排水(非適債)		
			(49,000*10/54*0.12)	千円	95,000*10/54*0.12) 区画整備	2,112千円	20,000*10/54*0.12=445千円		
		暗渠排水(非適債)	千円	58,000*10/54*0.12) 暗渠排水	1,289千円				
		(20,000*10/54*0.12)	千円	(非適債)					
合計	7,085千円		3,757千円		5,735千円		2,934千円		
財源内訳/割合	国庫支出金								
	県支出金	公共事業等債	公共事業等債	公共事業等債	公共事業等債	公共事業等債	公共事業等債	公共事業等債	公共事業等債
	地方債	事業費*0.1*0.9	5,300千円	事業費*0.1*0.9	2,500千円	事業費*0.1*0.9	4,200千円	事業費*0.1*0.9	1,800千円
	その他								
	一般財源		1,785千円		1,257千円		1,535千円		1,134千円
合計	7,085千円		3,757千円		5,735千円		2,934千円		
人工数	0.05人	289千円	0.05人	290千円	0.05人	290千円			
総経費	7,374千円		4,047千円		6,025千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	進捗率(事業費ベース)	成果	25%	31%	43%	62%
			25%	31%	43%	
			100%	100%	100%	
2						
3						

成果	令和元年度より区画整備工事に着手し、令和5年に事業完了に向けて実施しているが事業費の内示割れが続く、工程遅れが生じている。そのため、事業計画を令和8年に変更を行う。				
R5年度に向けた課題及び改善策	当初予算要求を行っているが内示割れが毎年あり、事業工程の遅れが生じている。国補正、局繰等を活用し、有利な財源を使用しながら事業完了に向けて事業を行っていきたい。				
目標達成度	B	R5年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 農林水産課 耕地係 事務事業番号 128020207

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	28	農業の振興	2	農業の生産基盤の整備		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	土地改良事業	7	石井手頭首工改修事業(県営防災減災事業・河川応急)				政策的
	石井手頭首工は、昭和42年に農業用水の取水堰として築造されて以後40年が経過しており、扉体の劣化・漏水に加え、ゲート操作が不完全な状態にある。洪水時にはすぐに倒伏しなければ通水断面が不足し、周辺地域に湛水被害が及ぶと想定される。また、再び起立しない状態となれば、営農への影響が懸念される。(国55%、県37%、市4.8%、地元3.2%)総事業費482,000千円				対象	石井手頭首工		
					手段	老朽化している石井手頭首工を改修する。		
				意図	営農の保全及び向上を図る。			

事業期間	R1 年度	～	R5 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳	調査費		県事業負担金	1,440千円	県事業負担金	6,240千円	県事業負担金	6,720千円
	(10,000)		(30,000*0.048)		(130,000*0.048)		(140,000*0.048)	
	(国庫100%)		繰越明許	480千円	3月補正			
			(10,000*0.048)	千円	県事業負担金	7,200千円		
					(150,000*0.048)			
合計				1,920千円		13,440千円		6,720千円
財源内訳/割合	国庫支出金							
	県支出金		公共事業等		公共事業等		公共事業等	
	地方債		事業費*0.048*0.9	1,680千円	事業費*0.048*0.9	12,000千円	事業費*0.048*0.9	6,000千円
	その他							
	一般財源			240千円		1,440千円		720千円
合計				1,920千円		13,440千円		6,720千円
人工数	0.05人		289千円	0.05人	290千円	0.10人	578千円	
総経費				2,210千円		14,018千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	進捗率(事業費ベース)	成果	21%	83%	35%	58%
			21%	83%	35%	
			100%	100%	100%	
2						
3						

成果	令和3年度から準備工として、河川の護床ブロック等を仮設ヤードで作成等を実施。本格的に令和4年10月頃から既設ゲートの撤去工事に着手する予定。				
R5年度に向けた課題及び改善策	当初計画していた内容から、河川管理者(山口県)追加事項が多くあり、事業費の増加がある。また、当初令和6年度の完了予定であったが、令和7年度に変更することになった。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
		成果	拡充	コスト	拡大
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 農林水産課 耕地係 事務事業番号 128020208

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	28	農業の振興	2	農業の生産基盤の整備		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
	2	土地改良事業	8	危険ため池改修事業			政策的	
事業概要	市内には、危険ため池に指定されたため池が3箇所あるが、これらのため池については、堤体からの漏水等が確認されており、十分な安全性が確保されていない状態にある。危険ため池については、営農の確保並びに災害の未然防止を図るため、順次、改修していく。				対象	市が指定した危険ため池で改修要望があるため池		
					手段	危険ため池を改修することにより、土地改良施設の整備を実施する。		
					意図	営農の保全及び向上		

事業期間	H30以前	年度 ~	R4	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)		
支出内訳	県事業負担金(実施計画策定)	6,725千円	県事業負担金(工事費ほか)	11,192千円	県事業負担金(工事費)	5,880千円	①県事業負担金(工事費)	2,359千円	
	(34,310*0.196)		(57,100*0.196)		(30,000*0.196)		(23,590*0.1)		
	繰越明許	3,920千円	繰越明許	3,920千円	3月補正(当初)		②県事業負担金(事業計画策定)		
	(20,000*0.196)		(20,000*0.196)		県事業負担金(工事費)	-2,880千円	(4,500)		
			繰越明許	5,880千円	3月補正	1,500千円			
		(30,000*0.196)		(15,000*0.1)					
合計		10,645千円		20,992千円		4,500千円		2,359千円	
財源内訳/割合	国庫支出金								
	県支出金	防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債	防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債		公共事業等債		公共事業等債		
	地方債	事業費*0.14	7,600千円	事業費*0.14	14,900千円	事業費*0.1*0.9	4,000千円	事業費*0.1*0.9	2,100千円
	その他								
	一般財源		3,045千円		6,092千円		500千円		259千円
合計		10,645千円		20,992千円		4,500千円		2,359千円	
人工数	人件費	0.10人	578千円	0.26人	1,508千円	0.15人	868千円		
総経費		11,223千円		22,500千円		5,368千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R1	R2	R3	R4
1	計画策定件数(洗川上・下ため池)	成果			
2	改修箇所数(事業費ベース)	成果	49	86	98
			49	86	98
			100%	100%	100%
3	計画策定件数(沖部下ため池)	活動			1

成果	洗川(下)ため池については、知事特認に該当したため、国費・県費の嵩上げがあり地元負担金額の軽減された。				
R5年度に向けた課題及び改善策	沖部下ため池の法手続きを行い、令和6年度から改修事業に着手を行う予定。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	洗川地区については土地改良区内のため地元分担金は、県が土地改良区から徴収を行う。沖部下地区は、土地改良区が無いので、市が水利組合から徴収し、県に負担金として支払う。洗川地区については、令和3年11月26日に知事特認に該当したため、補助率の変更。				

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 農林水産課 耕地係 事務事業番号 128020209

実施体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	28	農業の振興	2	農業の生産基盤の整備	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
2	土地改良事業	9	農業水利施設の長寿命化対策事業				政策的
事業概要	土地改良区等が所有する農業生産活動の基盤となる農業水利施設について、将来にわたってその機能の安定的に発揮させるために必要な機動的かつ効率的な長寿命化対策及び防災減災対策を実施する。また、機能保全計画を策定し、老朽化した農業水利施設の長寿命化を図るために必要な補修や更新を行う。					対象	市内土地改良区及び南高泊干拓農協
						手段	土地改良財産台帳の作成及び主要施設の機能保全計画を策定する。
						意図	今後の維持管理を計画的に行うと共に補修・更新費用の最小化・平準化を図る

事業期間	R1 年度	～	R3 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)		
支出内訳	実施計画		機能保全計画					
	機能保全計画		負担金	1,965千円				
			(ハード:8,184千円*24%)		負担金	2,083千円		
					(ハード:8,700千円*24%)			
	合計			1,965千円		2,083千円		
財源内訳/割合	国庫支出金	100%						
	県支出金		一般補助施設整備等事業債		一般補助施設整備等事業債			
	地方債		事業×0.13×90%	900千円	事業費*0.13*0.9	1,000千円		
	その他							
	一般財源			1,065千円		1,083千円		
合計			1,965千円		2,083千円			
人工数	0.05人	289千円	0.10人	580千円	0.05人	290千円		
総経費			2,545千円		2,373千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	実施計画策定	成果	6			
			6			
			100%			
2	機能保全計画策定	成果	3	3		
			3	3		
			100%	100%		
3	長寿命化対策工事	成果		3	3	
				3	3	
				100%	100%	

成果	令和3年度に残りの長寿命化対策工事を実施し無事に事業が完了した。この資料を活用し土地改法の改正に対応を実施していく。				
R5年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
		成果	完了	コスト	R3
特記事項	土地改良法の改正により令和4年4月以降に開始する事業年度から土地改良区の会計処理が複式簿記会計へ移行するが、この事業(ソフト事業)により財産台帳を作成することで移行経費を削減することが出来る。なお、本事業の実施主体を土地改良区として実施することで実施主体で取り組んでいく。また、平成31年度に実施する機能保全計画策定業務については、国庫補助100%のため市の負担は生じない。支払いについて変更。市経由であったがソフト・ハード事業の国費・県費については県が支払うため市負担の予算措置で対応を行う。				

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 農林水産課 農林係 事務事業番号 129010101

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	29	林業の振興	1	森林の適正管理		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
1	林業振興事業	1	造林支援事業				政策的	
事業概要	国土の保全及び水源かん養に資するため、森林所有者が民有林野において行う造林事業に対して補助する。 森林所有者の事業費負担の軽減を図ることで、将来の木材収入に還元でき、その結果、森林整備、荒廃の抑制にもつながる。財源を森林環境整備基金からの繰入金とする。				対象	民有林野において造林事業を行う森林所有者		
					手段	市補助:山口県が定める補助査定額と実行事業費を比較し、低い方に山口県補助を差し引いた金額を補助する。		
					意図	林業の振興		

事業期間	H30以前	年度	～	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)			R2(決算額)			R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳				造林事業補助金	294千円	造林事業補助金	103千円	造林事業補助金		
	合計				294千円		103千円			
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他					森林環境整備基金	103千円			
	一般財源				294千円					
合計				294千円		103千円				
人工数	0.01人			0.01人		0.10人				
人件費	58千円			58千円		578千円				
総経費				352千円		681千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	交付件数	成果	10	10	10	1000%
			11	11	7	
			110%	110%	70%	
2						
3						

成果	要望に基づき事業実施しており、造林事業に対する支援により林業の発展に寄与している。				
R5年度に向けた課題及び改善策	森林環境譲与税の使途として民有林の造林事業について認められることから、必要な個所に要望に基づいて事業を推進していく必要がある。				
目標達成度	B	R5年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 農林水産課 農林係 事務事業番号 129010103

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	29	林業の振興	1	森林の適正管理	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
1	林業振興事業	3	森林経営管理事業				政策的
事業概要	森林経営管理法に基づき、私有人工林における森林経営の意向調査を行い、森林所有者自らが経営管理を実行できない森林を市が経営管理の委託を受け、森林経営に適した森林は意欲と能力のある林業経営体に経営管理の再委託を行う。市が経営管理の委託を受けた森林の内、自然的条件に照らして林業経営に適さない森林や再委託に至るまでの森林は市が間伐等の経営管理を実施する。 また森林環境整備基金からの繰入金を財源に、民有林の整備環境促進、荒廃抑制を目的に林道及び作業道の路網整備を実施する。				対象	私有人工林	
					手段	森林経営管理法に基づく経営管理権集積・経営管理実施権配分 林道など路網の維持管理業務・造林支援補助	
					意図	林業の成長産業化・森林の適正管理	

事業期間	R1	年度	～	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)			
支出内訳	準備調査委託料	3,784千円	修繕料	3,682千円	調査委託料	6,270千円	意向調査業務委託料	3,000千円		
			準備調査委託料	4,566千円	管理委託料	1,082千円	森林資源調査委託料	3,200千円		
							林道等維持管理業務委託料	2,500千円		
							森林経営管理施設委託	1,800千円		
							造林事業補助金	500千円		
	合計	3,784千円		8,248千円		7,352千円		11,000千円		
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	森林環境整備基金繰入金	3,784千円	森林整備基金繰入金	8,248千円	森林環境整備基金繰入金	7,352千円	森林環境整備基金繰入金	11,000千円	
	一般財源									
合計	3,784千円		8,248千円		7,352千円		11,000千円			
人工数	0.00人		0.15人		0.15人		868千円			
総経費	3,784千円		9,118千円		8,220千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	森林経営管理権集積面積	成果				10ha
2	意向調査件数	活動	1件 1件 100%	1件 1件 100%	1件	100件
3						

成果	森林の施業履歴や森林所有者情報等を収集し、意向調査対象森林を整理することにより、現況把握を行い、今後の実施計画策定への準備を整えることができた。				
R5年度に向けた課題及び改善策	意向調査の準備調査を実施することにより、森林の施業履歴や森林所有者情報等を収集し、意向調査対象森林を整理し、優先順位等を決定し、森林経営管理事業の実施計画を策定することにより、それに従った維持管理業務を行う。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 農林水産課 事務事業番号 130020101

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	30	水産業の振興	2	水産業の生産基盤の整備	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	1	漁港整備事業	1	埴生漁港整備事業			政策的
	漁船の大型化に伴う休憩、陸揚げ施設の不足、用地不足及び干潮時の水深不足による出漁制限等の作業環境の向上のため、漁港の外郭施設、係留施設、水域施設及び用地を整備する。				対象	埴生漁港	
					手段	漁港施設の整備	
				意図	水産業の生産基盤の整備を図る。		

事業期間	H30以前	年度 ~	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R1(決算額)		R2(決算額)			R3(決算額)		R4(予算額)		
支出内訳	消耗品費	16千円	消耗品費	26千円	消耗品費	4千円	消耗品費	72千円	
	燃料費	78千円	燃料費	75千円	燃料費	72千円	燃料費	68千円	
	保険料	15千円	保険料	16千円	保険料	15千円	保険料	16千円	
	機械器具借上料	384千円	機械器具借上料	326千円	機械器具借上料	320千円	機械器具借上料	260千円	
	工事請負費	15,000千円	工事請負費	15,001千円	工事請負費	25,001千円	システム利用料	123千円	
							工事請負費	50,000千円	
合計		15,493千円		15,444千円		25,412千円		50,539千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金	80%	12,000千円	80%	12,000千円	80%	20,000千円	80%	40,000千円
	地方債	公共事業債(90%)	2,700千円	公共事業債(90%)	2,700千円	公共事業債(90%)	4,500千円	公共事業債(90%)	9,000千円
	その他								2千円
	一般財源		793千円		744千円		912千円		1,537千円
	合計		15,493千円		15,444千円		25,412千円		50,539千円
人工数	0.65人	3,435千円	0.45人	2,388千円	0.50人	2,664千円			
総経費		18,928千円		17,832千円		28,076千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	事業の進捗率	成果	0.8	0.81	0.85	90%
			0.76	0.78	0.8	
			95.0%	96.3%	94.1%	
2						
3						

成果	埴生漁港西護岸L=40mの築造、および浚渫土処理を行った。				
R5年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	B	R5年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) シティセールス課 観光振興係 事務事業番号 131010202

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	31	観光・交流の振興	1	観光・交流資源の整備・充実	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	2	広域観光振興事業	2	山口県央連携都市圏連携事業(山口ゆめ回廊博覧会実行委員会予算分)	3-(2)		政策的
	圏域を構成する7市町全体を会場に見立てて周遊型イベント「山口ゆめ回廊博覧会」を開催し、圏域全体の広域観光連携の取組を進めた。具体的には、ウェブサイト、SNS、公式ガイドブック、シティドレッシングなどによる広域的広報の下、7市町を周遊する「リアル宝探し」、「JAFデジタルスタンプラリー」等のイベントを実施した。				対象	市内・市外の人	
					手段	広域観光資源創出プロジェクトによる事業運営	
				意図	交流人口の増加		

事業期間	H30以前	年度 ~	R3	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)		
支出内訳	山口県央連携都市圏域事業負担金	975千円	山口県央連携都市圏域事業負担金	1,459千円	山口県央連携都市圏域事業負担金	1,459千円			
			普通旅費		消耗品費	144千円			
			消耗品費	78千円					
			手数料	6千円					
	合計	975千円		1,543千円		1,603千円			
	財源内訳/割合	国庫支出金 地方創生推進交付金	387千円	地方創生推進交付金	729千円	地方創生推進交付金	729千円		
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	一般財源	588千円		814千円		874千円			
	合計	975千円		1,543千円		1,603千円			
人工数	0.45人	1,591千円	0.35人	1,677千円	0.32人	1,168千円			
総経費		2,566千円		3,220千円		2,771千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	周遊型博覧会開催	活動		1回(プレ)	1回	
				1回	1回	
				100%	100%	
2	地域通訳案内士育成人数	成果	40人	40人	40人	
			36人	54人	67人	
			90.0%	140.0%	168.0%	
3	市の観光客数	成果	1,100,000人	1,120,000人	1,150,000人	
			1,160,215人	739,034人	816,325人	
			105.0%	66.0%	71.0%	

成果	令和2年は、新型コロナウイルス感染拡大により、市の観光客数が大幅に減少することとなったが、令和3年は、「山口ゆめ回廊博覧会」を実施し、圏域内における広域的な観光PRを行い、観光客数の一部回復に貢献することができた。地域通訳案内士の育成については、圏域内において目標を大幅に上回る結果となった。				
R5年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	C	R5年度に向けた方向性			
	成果	完了	コスト	R3	
特記事項	令和4年度からは、新たに「山口県央連携都市圏域事業」として、広域観光の取組を実施する。				

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) シティセールス課 観光振興係 事務事業番号 131010203

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	31	観光・交流の振興	1	観光・交流資源の整備・充実	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	広域観光振興事業	3	山口県央連携都市圏連携事業(山口ゆめ回廊博覧会市主体事業)	3-(2)		政策的
	圏域を構成する7市町全体を会場に見立てて開催した「山口ゆめ回廊博覧会」のうち、本市が主体となって市内で実施するイベントとして、ガラス作品のミニギャラリーとスタンプラリーポイントを設け、作品を鑑賞しながらオリジナルスタンプを集めてもらう周遊型イベント「ガラスアートフェスin山陽小野田」を開催するとともに、日本ガラス工芸協会主催の「日本のガラス展」巡回展を開催した。その他に、「ガラス作品作り&ティータイム」など、本市の観光資源であるガラス、かるた、竜王山、木戸刈屋道、お寺、書道を活用した6種類の体験イベントや特徴的な場所を舞台とする特別感の高い食イベントを実施することで交流人口の増加を図った。				対象	市内・市外の人	
					手段	広域観光資源創出プロジェクトによる事業運営	
					意図	交流人口の増加	

事業期間	R2 年度	～	R3 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳			報償費	8千円	報償費	6千円		
			山口県央連携都市	889千円	山口県央連携都市	5,584千円		
			圏域事業負担金		圏域事業負担金			
合計			897千円		5,590千円			
財源内訳/割合	国庫支出金		地方創生推進交付金	444千円	地方創生推進交付金	2,791千円		
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			453千円		2,799千円		
合計			897千円		5,590千円			
人工数	0.00人	千円	0.55人	2,484千円	0.78人	3,147千円		
総経費			3,381千円		8,737千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	市町主体事業の開催	活動		1回(プレ)	1回	
				1回	1回	
				100%	100%	
2	新たな体験プログラム造成及び実施	活動		3回(プレ)	26回	
				2回	18回	
				67.0%	69.0%	
3	市の観光客数	成果		1,120,000人	1,150,000人	
				739,034人	816,325人	
				66.0%	71.0%	

成果	令和2年は、新型コロナウイルス感染拡大により、市の観光客数が大幅に減少することとなったが、「山口ゆめ回廊博覧会」の市主体事業として歴史や文化をテーマとしたプログラムや地場産食材を使用した食イベント等の通常とは異なるイベントを実施し、本市固有の地域資源を発信することにより、観光客数の一部回復に貢献することができた。					
R5年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	C	R5年度に向けた方向性				
	成果	完了	コスト	R3		
特記事項						

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) シティセールス課 観光振興係 事務事業番号 131010204

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	31	観光・交流の振興	1	観光・交流資源の整備・充実		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
2	広域観光振興事業		4	山口県央連携レノファ山口応援事業				政策的
事業概要	レノファ山口ホームゲームの時に、観光PR等を実施する。また、レノファ山口の試合会場や、7市町(本市、山口市、宇部市、萩市、防府市、美祢市、津和野町)の観光施設等でスタンプラリーを実施し、抽選で当たる本市の特産品を提供することにより、地元特産品のPRとともに、市内観光施設への誘客を図った。					対象	レノファ山口ホームゲーム観戦者等	
						手段	スタンプラリーを集めた方に抽選で当たる特産品を提供する。	
						意図	地元スポーツチームを通じて、圏域内の一体感を深めるとともに地元の特産品をPRする。	

事業期間	H30以前	年度 ~	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)		
支出内訳	報償金	15千円	報償金	15千円	報償金	15千円	報償金	15千円	15千円
	合計	15千円	15千円	15千円	15千円	15千円	15千円	15千円	15千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	一般財源	15千円	15千円	15千円	15千円	15千円	15千円	15千円	15千円
合計	15千円	15千円	15千円	15千円	15千円	15千円	15千円	15千円	
人工数	0.15人	665千円	0.10人	403千円	0.10人	237千円			
総経費		680千円		418千円		252千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	サンクスデーでのブース出展	活動	1回	1回	1回	1回
			1回	1回	1回	
			100%	100%	100%	
2	ブースへの来場者数	成果	500人	500人	500人	500人
			400人	200人	300人	
			80%	40%	60%	
3						

成果	サンクスデーでは、観戦者等に対して、本市がレノファ山口の練習拠点であることを周知することに加え、ガラボン抽選会で名産品を景品とし、商品のPRを行うなど、本市の魅力発信と名産品の認知度向上を図ることができた。また、これを機会に、移住定住インスタグラム及び山陽小野田観光協会インスタグラムの公式アカウントにおける新規のフォロワーを獲得し、今後のインスタを活用した情報の発信をより効果的なものとする事ができた。				
R5年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	B	R5年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) シティセールス課 観光振興係 事務事業番号 131020202

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	31	観光・交流の振興	2	情報発信・誘客体制の強化・充実		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
	2	観光振興事業	2	観光プロモーション事業	3-(1) 3-(2)		政策的	
事業概要	平成30年度に実施した観光プロモーション調査事業を受けて、「山口県内及び北九州都市圏に居住する30～40代の女性」を新たなターゲットとし、観光動画や観光パンフレットを令和元年度に作成した。観光パンフレット「スマイル・スポット」は、温かみのあるデザインで写真で魅力が伝わるものとし、日帰りモデルコースを掲載するなど、ターゲット層の興味を惹くものとした。観光パンフレットの配布は、公共施設、花の海やおのだサンパークなどの市内事業所、山口宇部空港、JR厚狭・小野田駅などの公共交通機関のほか、各種イベント等で行い、本市の認知度向上と交流人口の増加を図った。				対象	市外・県外の人		
					手段	観光プロモーション動画の配信、観光パンフレット「スマイル・スポット」の配布		
					意図	本市の認知度向上、交流人口の増加		

事業期間	R1	年度	～	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R1(決算額)		R2(決算額)				R3(決算額)			R4(予算額)	
支出内訳	観光プロモーション	9,450千円		広告料	1,898千円	印刷製本費		968千円	山陽小野田	500千円
	業務委託料			手数料	99千円				観光協会補助金	
	合計	9,450千円			1,997千円			968千円		500千円
財源内訳/割合	国庫支出金	地方創生推進交付金	4,725千円	地方創生推進交付金	998千円				地方創生推進交付金	200千円
	県支出金									
	地方債									
	その他					ふるさと支援基金	968千円			
	一般財源	4,725千円			999千円					300千円
	合計	9,450千円			1,997千円			968千円		500千円
人工数	0.40人	2,310千円		0.10人	580千円	0.05人	289千円			
総経費	11,760千円			2,577千円			1,257千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	動画制作	活動	5本程度			
			6本			
			120%			
2	パンフレット制作 (日本語・外国語4種類)	活動	3万部		2万部(日本語)	
			3万部		2万部(日本語)	
			100%		100%	
3						

成果	新型コロナウイルス感染症の収束の目途が経たない状況下では、遠方からの来訪を促す観光プロモーションは行うべきではないと考え、観光パンフレット「スマイル・スポット」については、山口県央連携都市圏域で実施した「山口ゆめ回廊博覧会」を中心に圏域内において本市の観光PRを行った。				
R5年度に向けた課題及び改善策	令和4年度は情報発信の強化を図るために、山陽小野田観光協会Instagramハッシュタグキャンペーン事業の実施を予定しており、本市の認知度を高めるとともに、観光の魅力を多くの方に知ってもらうことで観光誘客の促進に繋がりたいと考えている。令和4年度の成果を元に、令和5年度も引き続きInstagramを活用した事業に取り組む。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
	成果	拡充	コスト	拡大	
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) シティセールス課 観光振興係 事務事業番号 131020205

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	31	観光・交流の振興	2	情報発信・誘客体制の強化・充実	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	2	観光振興事業	5	熱気球搭乗体験「そらから魅る超絶景!山陽小野田」	3- (2)		政策的
	本市が誇る地域資源を、いつもとは違う空からの眺めで楽しむ「そらから魅る超絶景!山陽小野田」では、一般社団法人山口県観光連盟の補助金を活用して、開催した。実施回数は、8回を予定していたが、天候により、7回の催行となった。会場は、「江汐公園」、「小野田運動広場」、「山陽オートレース場」、「厚狹球場」の4箇所とした。				対象	周遊型イベント「山口ゆめ回廊博覧会」の観光客や市内外の人	
					手段	熱気球の搭乗体験	
				意図	観光客数の回復を図り、交流人口を増加させる		

事業期間	R3 年度	～	R3 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳					熱気球体験搭乗	2,600千円		
					業務委託料			
					印刷製本費	191千円		
	合計					2,791千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他				特記事項参照	2,791千円		
	合計					2,791千円		
人工数	人件費				0.45人	1,920千円		
総経費						4,711千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	本市の観光客数	成果	1,100,000人	1,120,000人	1,150,000人	1,160,000人
			1,160,215人	739,034人	816,325人	
			105.5%	66.0%	71.0%	
2						
3						

成果	4箇所を会場とし、7回の催行を行い、合計で191組811名の参加があった。いつもとは違う空からの眺めで本市の魅力知ってもらえたことに加え、「山口ゆめ回廊博覧会」の開催期間に実施したことで、本市への観光客の誘客効果を相乗的に高め、減少した観光客数の一部回復に貢献することができた。					
R5年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	C	R5年度に向けた方向性				
	成果	完了	コスト	R3		
特記事項	①熱気球体験搭乗料金収入 1,380千円 ②熱気球体験搭乗企画支援事業補助金(一般社団法人山口県観光連盟) 600千円 ③ふるさと支援基金繰入金 811千円					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) シティセールス課 観光振興係 事務事業番号 131020302

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	31	観光・交流の振興	2	情報発信・誘客体制の強化・充実	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
3	観光推進組織支援事業	2	観光交流促進事業				政策的
事業概要	山陽小野田観光協会の観光情報の発信に係る経費とPR活動経費について、補助金を交付した。協会での観光情報は、山口県住みます芸人「どさけん」さんによるフェイスブック及びInstagramを活用した情報発信を行い、本市の観光資源の認知度向上及び交流人口の増加を図った。 なお、県外でのイベントや旅行会社との商談会には、コロナ禍のため参加することができなかった。				対象	山陽小野田観光協会	
					手段	事業活動に対する補助金交付	
					意図	交流人口の増大による観光振興の推進	

事業期間	H30以前	年度	～	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)			
支出内訳	山陽小野田	219千円	山陽小野田	307千円	山陽小野田	357千円	山陽小野田	357千円	山陽小野田	357千円
	観光協会補助金		観光協会補助金		観光協会補助金		観光協会補助金		観光協会補助金	
	合計	219千円		307千円		357千円		357千円		357千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他				ふるさと支援基金	357千円				
	一般財源	219千円		307千円						357千円
合計	219千円		307千円		357千円		357千円		357千円	
人工数 人件費	0.15人	866千円	0.05人	290千円	0.12人	523千円				
総経費		1,085千円		597千円		880千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	山陽小野田観光協会ホームページ、SNSのビュー数	成果	80,000ビュー	125,000ビュー	130,000ビュー	135,000ビュー
			121,950ビュー	160,199ビュー	243,438ビュー	
			152.0%	128.0%	187.0%	
2						
3						

成果	山口県住みます芸人「どさけん」さんによるフェイスブック及びInstagramを活用した観光情報の発信を行った。市内で実施されるイベント情報の告知や現地での開催風景を発信したり、飲食店、名産品に関する情報発信など計70回の投稿を行い、本市の観光資源の認知度向上及び交流人口の増加を図ることができた。 なお、県外でのイベントや旅行会社との商談会には、コロナ禍のため参加することができなかった。				
R5年度に向けた課題及び改善策	協会ホームページの閲覧数が伸び悩んでおり、特に今は、若い世代の情報ツールであるInstagramでの情報発信に力を入れ、Instagramから協会ホームページへの閲覧を促し、市内の観光スポットや飲食店等を広く周知することで、情報発信を強化していく必要がある。				
目標達成度	B	R5年度に向けた方向性			
		成果	拡充	コスト	現状維持
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) シティセールス課 観光振興係 事務事業番号 131020303

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	31	観光・交流の振興	2	情報発信・誘客体制の強化・充実	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	3	観光推進組織支援事業	3	観光パンフレット等作成事業			政策的
	山陽小野田観光協会へ補助金を交付し、観光マップ「ええねえ山陽小野田市」を改訂・増刷(毎年1万部)し、市内外に掲出することで観光誘客を図った。 また、ボールペンと観光協会PRキャラクターシールなどのノベルティグッズを作成し、イベント参加者に配布することで本市の観光資源の認知度向上及び交流人口の増加を図った。				対象	山陽小野田観光協会	
					手段	事業活動に対する補助金交付	
					意図	交流人口の増大による観光振興の推進	

事業期間	H30以前	年度 ~	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)		
支出内訳	山陽小野田	1,000千円	山陽小野田	495千円	山陽小野田	912千円	山陽小野田	500千円	
	観光協会補助金		観光協会補助金		観光協会補助金		観光協会補助金		
	合計	1,000千円		495千円		912千円		500千円	
財源内訳/割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他	ふるさと支援基金	1,000千円	ふるさと支援基金	495千円	ふるさと支援基金	912千円	ふるさと支援基金	500千円
	一般財源								
合計	1,000千円		495千円		912千円		500千円		
人工数	0.10人	578千円	0.05人	290千円	0.10人	408千円			
総経費		1,578千円		785千円		1,320千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	市の観光客数	成果	1,100,000人	1,120,000人	1,150,000人	1,160,000人
			1,160,215人	739,034人	816,325人	
			105.0%	66.0%	71.0%	
2						
3						

成果	観光マップ「ええねえ山陽小野田市」を1万部増刷し、コロナ禍であることから県内の山口宇部空港やJR新山口駅等に掲出することにより本市の観光PRを行った。また、「山口ゆめ回廊博覧会」の各種イベント参加者に対し、ボールペンと観光協会PRキャラクターシールなどのノベルティグッズを配布することで本市の観光資源の認知度向上を図った。				
R5年度に向けた課題及び改善策	観光マップ「ええねえ山陽小野田市」は、デザインや写真が古くなっているため、現在のトレンドを取り入れる必要があると考えており、制作時には、活用方法を明確とし、本市の観光情報をより効果的にPRできるように掲載内容の見直しを行っていく必要がある。				
目標達成度	B	R5年度に向けた方向性			
	成果	拡充	コスト	現状維持	
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) シティセールス課 観光振興係 事務事業番号 131020304

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	31	観光・交流の振興	2	情報発信・誘客体制の強化・充実	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
3	観光推進組織支援事業	4	観光ボランティアガイド活動支援事業		交流	政策的	
事業概要	山陽小野田観光協会において、観光ガイド団体が実施する事業に対し、助成金を交付し、活動を支援した。 ガイド派遣事業では、他市町とのガイド料の均衡を図るため、ツアーを受け入れた場合のガイド料の一部を補助した。 ガイド育成事業では、研修会の開催に要する事業費の一部を補助することで、観光客等へのホスピタリティ向上を図った。				対象	山陽小野田観光協会	
					手段	事業活動に対する補助金交付	
					意図	観光客へのホスピタリティの向上	

事業期間	H30以前	年度 ~	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)			
支出内訳	山陽小野田	100千円	山陽小野田		山陽小野田	29千円	山陽小野田	100千円	
	観光協会補助金		観光協会補助金		観光協会補助金		観光協会補助金		
	合計		100千円				29千円		100千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他				ふるさと支援基金	29千円	ふるさと支援基金	100千円	
	一般財源	100千円							
合計		100千円				29千円		100千円	
人工数 人件費	0.05人	289千円	0.05人	114千円	0.05人	119千円			
総経費		389千円				148千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	観光ガイド派遣件数	成果	20回	20回	20回	20回
			13回	0回	4回	
			65.0%	0%	20.0%	
2	観光ガイド育成研修会	活動	2回	2回	2回	2回
			2回	0回	5回	
			100%	0%	250.0%	
3						

成果	ガイドツアーでは、観光客のほか、出版社等を対象にセメントの歴史や文化、厚狭の街並みなどと本市の魅力を知ってもらい、PRを行うことができた。ガイド育成では、本市の自然、歴史や文化を座学で研修するほか、実際に竜王山や厚狭の街並みなどを見学しながら、観光案内のノウハウを学ぶなどガイドとしてのスキルアップを行い、観光客等へのホスピタリティ向上を図ることができた。				
R5年度に向けた課題及び改善策	観光ガイド派遣事業の認知度は、ほぼ皆無のため、令和4年9月の新規サイト開設後における観光協会ホームページでは、当該事業の周知を行い、ガイド利用者を増やし、交流人口の増加を図っていく必要がある。				
目標達成度	C	R5年度に向けた方向性			
	成果	拡充	コスト	現状維持	
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) シティセールス課 観光振興係 事務事業番号 131020401

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	31	観光・交流の振興	2	情報発信・誘客体制の強化・充実		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
	4	観光振興推進体制強化事業	1	おもてなしサポーター育成事業		交流	政策的	
事業概要	市内観光関係事業所及び個人を対象に研修会を実施し、本市の観光資源の知識、観光案内のノウハウを教授し、観光客へのホスピタリティの向上を図った。 また、新たにおもてなしサポーターになった事業所には、「ミニ観光案内所」ののぼり旗と観光パンフレット等を配布し、事業所を訪れた方に観光案内を行ったり、観光情報を発信してもらった。				対象	市内観光関係事業所・個人		
					手段	研修会を開催し、観光情報を提供できるように育成する		
					意図	おもてなしの向上による交流人口の増加		

事業期間	H30以前	年度	～	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)			R2(決算額)			R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳	講師謝礼	10千円		講師謝礼	15千円		講師謝礼	10千円	講師謝礼	20千円
	消耗品費	82千円		消耗品費	72千円		消耗品費	40千円	消耗品費	80千円
	合計		92千円			87千円			50千円	
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源		92千円		87千円			50千円		100千円
合計		92千円		87千円			50千円		100千円	
人工数	0.10人			0.05人			0.10人			
人件費		578千円			290千円			237千円		
総経費		670千円			377千円			287千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	研修会の開催	活動	2回	2回	2回	2回
			2回	2回	2回	
			100%	100%	100%	
2	研修会の受講者数	成果	20人	20人	20人	20人
			18人	17人	13人	
			90.0%	85.0%	65.0%	
3	サポーター登録者数(通算)	成果	100人	100人	100人	100人
			39人	54人	67人	
			39.0%	54.0%	67.0%	

成果	新型コロナウイルス感染拡大の状況下ではあったが、コロナ対策を徹底した上で、研修会を2回実施した。また、新たにおもてなしサポーターになった事業所には、「ミニ観光案内所」ののぼり旗と観光パンフレット等を配布し、事業所を訪れた方に観光案内を行ったり、観光情報を発信することで、観光客へのホスピタリティの向上を図った。				
R5年度に向けた課題及び改善策	現在、研修会は、新たにおもてなしサポーターになる者を対象に実施しているが、今後は、登録されたサポーターを対象にする研修会を定期的実施するなど、観光資源の知識や観光案内のノウハウを向上させていく必要がある。				
目標達成度	B	R5年度に向けた方向性			
		成果	拡充	コスト	現状維持
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) シティセールス課 観光振興係 事務事業番号 131030101

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	31	観光・交流の振興	3	地域ブランドの推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
1	山陽小野田名産品活用推進事業	1	山陽小野田名産品活用促進事業				政策的
事業概要	山陽小野田観光協会に補助金を交付し、同協会内に設置している山陽小野田名産品推進協議会を通じ、名産品フェアの開催や関西山口県同郷会での広報宣伝活動を行い、名産品の認知度向上及び販路拡大を図った。また、水産加工品や菓子類などの6品目が新たに名産品として認定された。				対象	山陽小野田観光協会	
					手段	事業活動に対する補助金交付	
					意図	名産品の認知度向上及び販路拡大	

事業期間	H30以前	年度	～	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)			R2(決算額)			R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳	山陽小野田	151千円		山陽小野田	151千円	山陽小野田	151千円	山陽小野田	151千円	151千円
	観光協会補助金			観光協会補助金	千円	観光協会補助金		観光協会補助金	千円	千円
	合計		151千円			151千円			151千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他					ふるさと支援基金	151千円			151千円
	一般財源	151千円			151千円					
合計		151千円			151千円			151千円		151千円
人工数	0.15人	665千円		0.25人	1,097千円		0.20人	816千円		
総経費		816千円			1,248千円			967千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	やまぐち名産品フェアの実施回数	活動	1回	1回	1回	1回
			1回	1回	1回	
			100%	100%	100%	
2	山陽小野田名産品認定数	成果	40品	40品	40品	40品
			36品	35品	37品	
			90.0%	88.0%	93.0%	
3						

成果	やまぐち名産品フェアでは、名産品認定事業者のうち、12社による販売を行い、3日間で約250万円の売上額となり、名産品のPR及び販路拡大に繋げることができた。また、関西山口県同郷会では、コロナ禍であるため、商品のみ提供となったが、本市の名産品認定事業者3社による4品目を提供し、山口県の香りや味に故郷を思い出してもらうことに加え、関西居住者に対して、本市の名産品をPRすることができた。				
R5年度に向けた課題及び改善策	現在、名産品認定事業者には、やまぐち名産品フェアへの出店や県内で開催される物産展の案内を行うほか、観光パンフレット等による名産品の紹介などを行っているところであるが、名産品認定におけるメリットが乏しい状況である。今後は、名産品の認知度向上及び販路拡大に繋がるように更なる取組を打ち出していく必要がある。				
目標達成度	B	R5年度に向けた方向性			
	成果	拡充	コスト	現状維持	
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) シティセールス課 定住促進係 事務事業番号 131040102

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	31	観光・交流の振興	4	シティセールスの推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
1	シティセールス推進事業	2	シティセールスPR強化事業	3-1			政策的
事業概要	第二次総合計画において、「スマイルシティ山陽小野田」をキャッチフレーズとして打ち出したことに伴い、平成30年度にキャッチフレーズをモチーフにしたロゴマークを制作するとともに、JR厚狭駅新幹線口へのPRポスターを掲示した。令和2年度からは、JR小倉駅のデジタルサイネージを活用して市の魅力を発信した。令和3年度は、引き続きJR厚狭駅新幹線口での市のPRポスター掲示及びJR小倉駅のデジタルサイネージでの放映を行い交流人口の増加を図った。				対象	市内・市外の人	
					手段	JR駅構内でのPR広告による情報発信	
					意図	交流人口の増加及び移住・定住促進	

事業期間	H30以前	年度	～	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)			
支出内訳	広告料	389千円	広告料	983千円	広告料	983千円	印刷製本費	82千円		
	商標登録委託料	210千円								
	合計	599千円		983千円		983千円		82千円		
財源内訳/割合	国庫支出金	1/2	194千円	1/2	491千円					
	県支出金									
	地方債									
	その他					ふるさと支援基金	983千円			
	一般財源		405千円		492千円					82千円
合計		599千円		983千円		983千円			82千円	
人工数	0.15人	866千円	0.10人	580千円	0.01人	58千円				
総経費		1,465千円		1,563千円		1,041千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	市公式ホームページ、SNSの閲覧数	活動	1,060,000件	1,115,000件	1,200,000件	1,300,000件
			1,173,979件	1,799,406件	2,193,206件	
			110.8%	161.4%	182.8%	
2						
3						

成果	ロゴマークの作成により、本市のキャッチフレーズ「スマイルシティ山陽小野田」の周知やイメージアップにつながっており、ロゴマークやイメージカラーを活用した取組を各課が市民に向けて積極的に行った。加えて、JR厚狭駅構内のポスター掲示やJR小倉駅のデジタルサイネージ放映によって、市外の方にも山陽小野田市をPRすることができている。				
R5年度に向けた課題及び改善策	本市への認知度向上を図るため、新たにデジタル媒体を活用したPR手法を検討する。また、令和4年度に作成するシティセールスポスター「笑顔生まれる」第2弾を、市内観光施設や公共施設などに掲示するほか、移住フェアやわがまちの魅力発信事業でのブース出展などで活用し、本市のPRを行う。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
	成果	拡充	コスト	拡大	
特記事項	【広告料内訳 982,300円】・JR厚狭駅へのPRポスター2箇所掲示(R3.4/1～R4. 3/31)388,300円・JR小倉駅65インチへのデジタルサイネージ掲示(R3.4/1～R4. 3/31)594,000円				

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) シティセールス課 定住促進係 事務事業番号 131040103

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	31	観光・交流の振興	4	シティセールスの推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
1	シティセールス推進事業		3	若者会議推進事業		3-(1)	政策的
事業概要	本市の将来都市像である「活力と笑顔あふれるまち～スマイルシティ山陽小野田～」の実現に向けて、シティセールスを推進していく上で、若者の視点による本市の魅力発信に係る意見を聴き、地域振興の諸施策に反映させるため、若者会議を設置した。初年度(令和元年度)はスポーツをテーマに会議を行った。2年度の会議は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和3年度に実施し、文化をテーマに、ガラスやかるた等をはじめとする本市の文化活動の推進について、意見交換や議論を行った。				対象	市内在住又は市内の事業所、学校に在籍している方	
					手段	若者の意見を聴く	
					意図	文化・スポーツの諸施策に反映させる	

事業期間	R1	年度	～	R3	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)			
支出内訳	報償金	40千円	報償金		報償金		20千円			
	保険料	8千円	保険料		保険料		3千円			
					負担金、補助及び交付金		17千円			
	合計	48千円						40千円		
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	48千円						40千円		
合計	48千円						40千円			
人工数 人件費	0.35人	2,021千円	0.00人		千円	0.15人	868千円			
総経費	2,069千円						908千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	会議の開催数	活動	5回	5回	5回	
			4回	0回	4回	
			80.0%	0%	80.0%	
2						
3						

成果	18歳以上30歳未満のまちづくりに意欲のある若者が集まり、「文化」をテーマに意見交換や議論を進めた。若者らしく固定観念に囚われないアイデアを出してもらうことを重視し、「どうあったら良いか」を中心に、市への提案をまとめ、令和4年3月、市へ提出した。					
R5年度に向けた課題及び改善策	若者の意見については、ハロウィンイベントや文化・スポーツなど、今後それぞれの部署における施策の中で聴取する機会を設け、市政に反映させていく。					
目標達成度	B	R5年度に向けた方向性				
		成果	完了	コスト	R3	
特記事項	令和3年度終了					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) シティセールス課 定住促進係 事務事業番号 131040104

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	31	観光・交流の振興	4	シティセールスの推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	1	シティセールス推進事業	4	ハロウィンイベント実施事業	3-(1)	交流	政策的
	市のイメージカラー「オレンジ」との親和性が高く、若者に人気のハロウィンに着目し、「スマイル・ハロウィンパーティー」を開催する。市の魅力を大々的にPRするとともに、同イベントに関わった人に本市に対する誇りや愛着を持っていただくきっかけとする。また、10月の1か月間、「スマイル・オレンジフェア」を実施し、参加事業所によるサービス提供やディスプレイコンテストの開催、関連イベント等の連携を図ることで、市内全域における交流人口の増加を狙う。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症による影響により、スマイル・ハロウィンパーティーは中止となったが、オレンジフェアは実施し、ディスプレイコンテスト、フォトコンテスト、デジタルスタンプラリーなどを行った。				対象	市内・市外の人	
					手段	参加型イベントの開催	
				意図	市の認知度の向上、交流人口の増加、誇りや愛着、共感を得る		

事業期間	R1	年度	～	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)			
支出内訳	スタジオ・スマイル補助金	10,000千円	スタジオ・スマイル補助金		スタジオ・スマイル補助金	3,847千円	スタジオ・スマイル補助金	5,000千円		
	合計	10,000千円			3,847千円		5,000千円			
	国庫支出金	1/2	5,000千円	1/2	1,895千円					
	県支出金									
	地方債									
財源内訳/割合	その他						ふるさと支援基金	5,000千円		
	一般財源	5,000千円			1,952千円					
	合計	10,000千円			3,847千円		5,000千円			
人工数	1.35人	7,797千円	0.70人	3,883千円	0.63人	3,473千円				
総経費		17,797千円				7,320千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R1	R2	R3	R4	
1	映像等を効果的に活用したプロモーション作品の上映を制作するために取材する地域資源(取材箇所数)	活動	15箇所	20箇所	20箇所	20箇所
			15箇所	0箇所	21箇所	
			100%	0%	105.0%	
2	イベントにスタッフ等として参画する市民等の人数(実人数)	成果	50人	70人	100人	100人
			136人	0人	356人	
			272.0%	0%	356.0%	
3	スマイル・ハロウィンパーティーへの集客	成果	10,000人	12,000人	26,000人	26,000人
			26,000人	0人	0人	
			260.0%	0%	0%	

成果	令和2年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度の「スマイル・ハロウィンパーティー」が中止となったが、10月の1か月間、「スマイル・オレンジフェア」を開催し、ディスプレイコンテストの参加事業者は58事業者で投票総数466票、フォトコンテスト応募作品は36作品、デジタルスタンプラリーは55件の報告者数となった。また、サンパークで動画の上映会等を実施するなど、コロナ禍でも可能な取組を実施し、本市への関心を高めた。				
R5年度に向けた課題及び改善策	今後イベントを継続していくため、また若者によるまちの魅力発信力強化のために、市主導ではなく、小野田、山陽商工会議所青年部及び小野田青年会議所を中心に、関係団体が主体的に実施する事業という認識を定着させ、自発的な体制を築いていく必要がある。				
目標達成度	B	R5年度に向けた方向性			
	成果	拡充	コスト	現状維持	
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) シティセールス課 定住促進係 事務事業番号 131040106

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	31	観光・交流の振興	4	シティセールスの推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
1	シティセールス推進事業	6	ロゴマーク普及啓発事業	3-	(1)		政策的
事業概要	ロゴマーク入り缶バッジの無料配布を行うことで、市の知名度アップやロゴマークが市民へ浸透することにより愛着の喚起を誘発し、シビックプライドの醸成を図った。また、イベント(ハロウィンイベント、レノファ山口試合会場等)を活用した缶バッジの製作体験・無料配布を行い、市内外に向けてPR促進を図った。				対象	市内・市外の人	
					手段	缶バッジの無料配布、情報発信	
					意図	市の知名度アップ、シビックプライドの醸成	

事業期間	R1 年度	～	R8以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)	
	消耗品費	134千円			消耗品費	104千円	消耗品費	418千円
	合計	134千円				104千円		418千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	134千円				104千円		418千円
合計	134千円				104千円		418千円	
人工数	0.20人		0.20人	807千円	0.11人		466千円	
総経費		1,087千円				570千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	缶バッジの無料配布	活動	2,440個	2,000個	2,500個	2,500個
			2,455個	1,150個	1,590個	
			100.6%	57.5%	63.6%	
2						
3						

成果	令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響から多くのイベントが中止となったが、シティセールス課窓口での配布のほか、ハロウィンイベントやレノファ山口の試合会場、ブース出展等、可能な範囲で配布し、市民等へのロゴマークの認識を高めた。				
R5年度に向けた課題及び改善策	缶バッジはロゴマークの周知に効果的なツールとなっている。今後もフェアやイベント等を活用した缶バッジの配布を行い、ロゴマークの周知及び市の知名度アップを図る。				
目標達成度	C	R5年度に向けた方向性			
	成果	拡充	コスト	縮小	
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) シティセールス課 定住促進係 事務事業番号 131040107

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	31	観光・交流の振興	4	シティセールスの推進		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
1	シティセールス推進事業		7	わがまちの魅力発信事業		3-(1)		政策的
事業概要	レノファ山口をはじめとするプロスポーツの試合等の場を活用し、市の魅力のPRを実施することで、市の認知度の向上や交流人口の増加、サポート寄附金の確保を図る。令和3年度は、維新みらいふスタジアムでレノファサンクスデーでのブース設置を行った。					対象	市内・市外の人	
						手段	市のPRの実施	
						意図	市の認知度の向上、交流人口の増加、サポート寄附金の確保	

事業期間	R2 年度	～	R8以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)		
支出内訳	普通旅費		普通旅費		普通旅費		普通旅費	87千円
	消耗品費		消耗品費		消耗品費	26千円	消耗品費	260千円
			通行料		通行料		通行料	10千円
	イベント出展負担金		イベント出展負担金		イベント出展負担金	375千円	イベント出展負担金	16千円
	合計					401千円		373千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他		ふるさと支援基金繰入金		ふるさと支援基金繰入金	401千円		
	一般財源							373千円
合計					401千円		373千円	
人工数	0.00人		0.10人	580千円	0.06人	347千円		
総経費						748千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	PRの実施	活動		3回	3回	3回
				2回	1回	
				66.7%	33.3%	
2	ブースへの来場者数	成果		4,000人	4,000人	4,000人
				2,000人	1,000人	
				50.0%	25.0%	
3						

成果	レノファ山口サンクスデー(R3. 11. 28開催:サポート寄附PR、新規就農者PR・農産物物販)でブースを設置し、本市の特産物などのPRを行ったほか、大型ビジョンでスマイルエイジング、山陽オートの映像を流し、本市の特徴的な事業をPRし本市への関心を高めた。				
R5年度に向けた課題及び改善策	プロスポーツの観戦という多くの人が集まる機会を活用することによって、市の魅力を市内外にPRすることができるため、令和5年度以降もブース出展し、スポーツファンというターゲットを絞って市の認知度の向上、サポート寄附金の確保を図るとともに、ガラボン抽選会の景品等にゴルフ券や市内レストラン食事券を活用するなどし、交流人口の増加を促進する。				
目標達成度	D	R5年度に向けた方向性			
	成果	拡充	コスト	拡大	
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) シティセールス課 定住促進係 事務事業番号 131040108

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	31	観光・交流の振興	4	シティセールスの推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
1	シティセールス推進事業	8	シティセールスガイドブック作成事業	3-(1)			政策的
事業概要	本市の魅力や住みよさを市内外にPRするため、令和2年1月、シティセールスガイドブック「SO smile」を作成し(4,000部、B5横型28ページ)、移住フェア等で配布したほか、市役所等の公共施設に設置、ホームページにも掲載するなどして、本市の住みよさをPRした。令和2年度、3年度は、商業施設や住宅展示場、不動産会社等にも配布し、移住検討者等を対象に本市の魅力をPRした。また、市民課及び各支所の窓口で、転入者に配布している。なお令和3年度に、課名の変更や施設名称の変更等を行い、内容を最新の状態にして3,000部増刷し配布した。				対象	市内外の方	
					手段	シティセールスガイドブックの配布により、市の魅力を発信	
					意図	交流人口の増加、移住定住の促進	

事業期間	R1	年度	～	R4	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R1(決算額)		R2(決算額)				R3(決算額)			R4(予算額)	
支出内訳	ガイドブック作成委託料	2,160千円					印刷製本費	985千円	ガイドブック作成委託料	1,062千円
	合計	2,160千円						985千円		1,062千円
財源内訳/割合	国庫支出金	1/2	1,080千円							
	県支出金									
	地方債									
	その他						ふるさと支援基金	985千円	ふるさと支援基金	1,062千円
	一般財源		1,080千円							
合計		2,160千円					985千円		1,062千円	
人工数	人件費						0.03人	174千円		
総経費		#VALUE!						1,159千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	ガイドブック「SO smile」の配布数	活動	2,000冊	500冊	1,500冊	1,500冊
			1,782冊	380冊	2,202冊	
			89.1%	76.0%	146.8%	
2						
3						

成果	令和3年度は、課名の変更や施設名称の変更等を行い、内容を最新の状態にして増刷、配布を行い、本市の認知度向上に寄与した。				
R5年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
		成果	拡充	コスト	拡大
特記事項					